

1. 廃棄物発生予測と現状

(1) ごみ発生量・家庭系事業系別排出量

①ごみ発生量

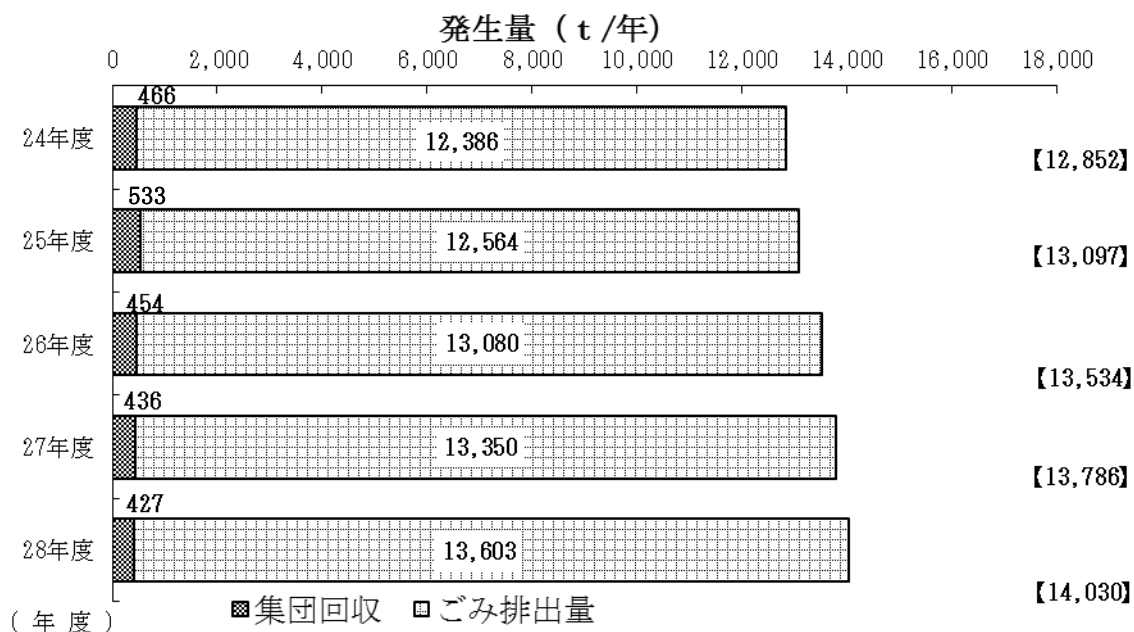
ごみ排出量と集団回収の合計値とした過去5年間（平成24年度～28年度）のごみ発生量は下表のとおりです。

ごみ排出量は、12,000 t～13,000 t 台で推移し、28年度は13,603 tで前年度より253 t増加しています。これは、震災復興事業に関連した事業所からの排出量増加、防災集団移転団地の完成に伴う引越しによる可燃ごみ排出量増加が原因と考えられます。

なお、集団回収については、427 tで前年度より9 t減少しています。

(単位：t)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ごみ排出量①	12,386	12,564	13,080	13,350	13,603
集団回収②	466	533	454	436	427
ごみ発生量①+②	12,852	13,097	13,534	13,786	14,030

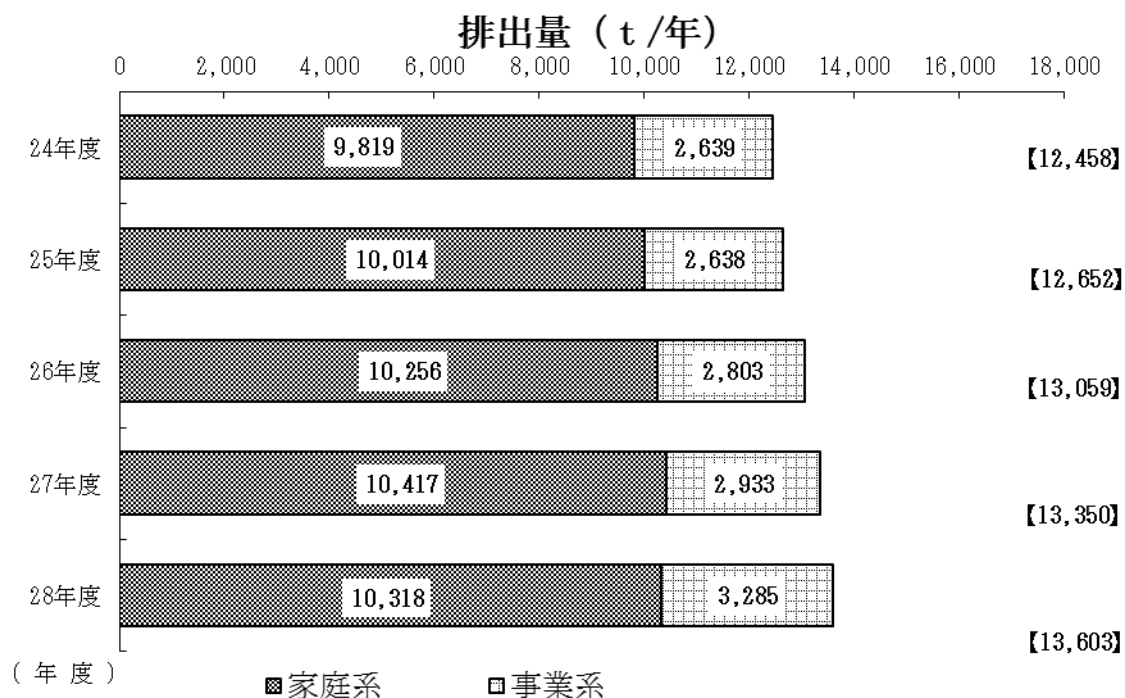


②家庭系・事業系排出量

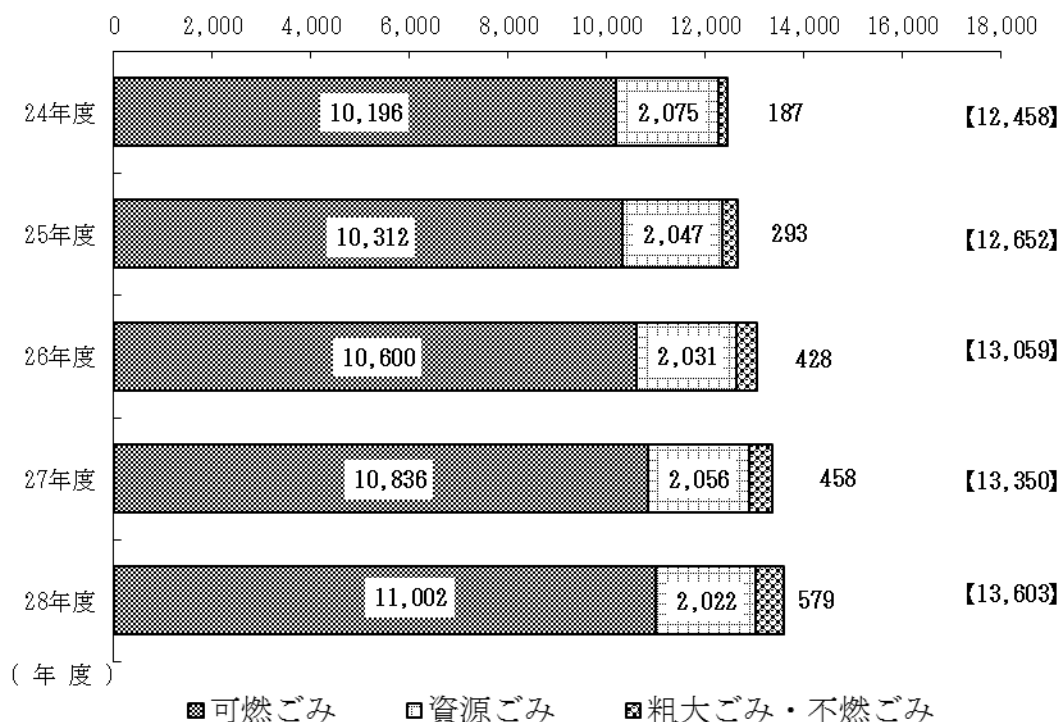
家庭系ごみ、事業系ごみに分けた発生系別ごみ排出量の内訳は、下表のとおりで、家庭系ごみの占める割合が約76%です。

(単位：t)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
家庭系ごみ（委託収集・住民持込）	9,819	10,014	10,256	10,417	10,318
可燃ごみ（石巻広域分）①	7,716	7,864	7,985	8,031	7,963
資源ごみ（リサイクルセンター分）②	1,881	1,859	1,856	1,878	1,844
資源ごみ（容器包装プラスチック）③	145	148	135	139	141
資源ごみ（廃食用油）④	3	3	3	3	3
粗大ごみ・不燃ごみ⑤	74	140	277	366	367
事業系ごみ（許可・直搬搬入）	2,639	2,638	2,803	2,933	3,285
可燃ごみ（石巻広域分）⑥	2,480	2,448	2,615	2,805	3,039
資源ごみ（リサイクルセンター分）⑦	46	37	37	36	34
粗大ごみ・不燃ごみ⑧	113	153	151	92	212
計	12,458	12,652	13,059	13,350	13,603
可燃ごみ（石巻広域分）①+⑥	10,196	10,312	10,600	10,836	11,002
資源ごみ ②+③+④+⑦	2,075	2,047	2,031	2,056	2,022
粗大ごみ・不燃ごみ ⑤+⑧	187	293	428	458	579



ごみ質別排出量 (t/年)



平成 28 年度のごみ質別排出量の割合は、可燃ごみ 81%・資源ごみ 15%・粗大、不燃ごみ 4% の割合でした。

③廃品回収奨励金交付事業

子供会や町内会などが実施する集団回収について、その活動を支援するため「廃品回収奨励金」として回収量に応じた奨励金を交付しています。(紙類・びん類・金属類の各品目 1kg 当たり 3 円) 平成 28 年度実績では、38 団体・申請件数 218 件に対し 427 t 分の奨励金が交付されました。

過去 5 年間での実施団体は平成 25 年度で 42 団体をピークに減少傾向にあります。回収量も同様に減少していますが、今後、市広報やごみ分別説明会などで啓発を行い事業のさらなる拡充を行っていきます。

年度	回収量計 (t)	紙類 (t)	びん類 (t)	金属類 (t)	その他 (t)	実施団体	申請件数	奨励金 (千円)
24	466	429	7	25	5	41	248	1,386
25	533	496	7	28	2	42	253	1,586
26	454	423	6	21	4	38	226	1,351
27	436	403	6	22	5	38	219	1,299
28	427	395	5	20	7	38	218	1,272

(2) ごみ処理状況

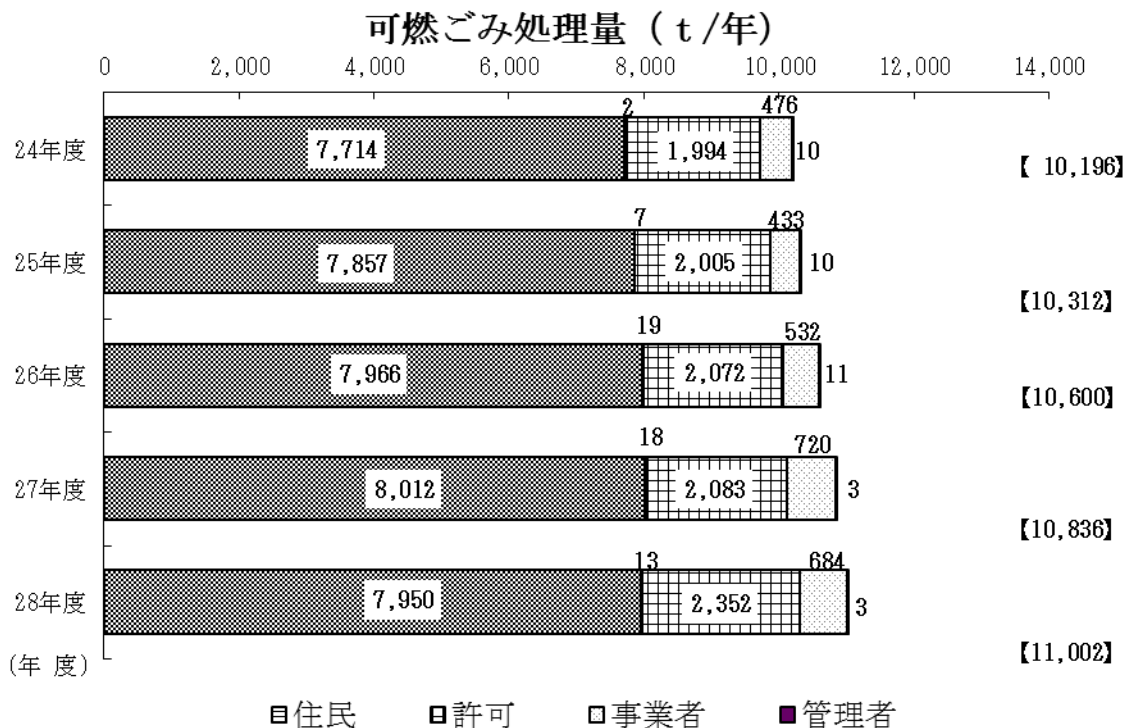
① 可燃ごみ処理量（石巻広域クリーンセンター分）

平成28年度の可燃ごみ処理は、全量を石巻広域クリーンセンターで焼却処理しています。家庭系可燃ごみについては、7,963 tと前年度より67 t減少しています。

また、事業系可燃物ごみについては増加しており、特に許可業者の搬入量が2,352 tで前年度より269 t増加しています。

(単位：t)

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
家庭系	委託収集 ①	7,714	7,857	7,966	8,012	7,950
	住民持込 ②	2	7	19	18	13
事業系	許可業者 ③	1,994	2,005	2,072	2,083	2,352
	事業者 ④	476	433	532	720	684
	管理者 ⑤	10	10	11	3	3
可燃ごみ処理量 ⑥ (Σ①～⑤)		10,196	10,312	10,600	10,836	11,002
月平均処理量 (⑥/処理月数)		850	859	883	903	917



② 資源ごみ、粗大ごみ・不燃ごみの処理量

資源ごみは矢本リサイクルセンターで中間処理を行い、粗大ごみ・不燃ごみは鳴瀬一般廃棄物最終処分場で分別し最終処分（埋立）を行います。

資源ごみ、粗大ごみ・不燃ごみの処理数量は次のとおりです。

(単位：t)

区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
資源ごみ等排出	家庭系	委託収集	①	2,041	2,021	1,963	2,011	1,959
		住民持込	②	65	133	294	375	378
	事業系（管理者ほか）		③	156	186	188	128	245
	資源ごみ等排出量 計		①+②+③	2,262	2,340	2,445	2,514	2,582
中間処理の状況	資源化量	紙類	④	1,051	1,025	1,036	1,026	1,008
		金属類	⑤	253	254	233	254	300
		ビン類	⑥	379	356	371	377	319
		ペットボトル	⑦	118	119	111	115	116
		容器包装プラスチック	⑧	142	142	135	139	141
		硬質プラスチック	⑨	8	8	14	21	24
		布類	⑩	68	66	78	91	83
		木くず	⑪	32	59	90	79	60
		ガラス・陶磁器類	⑫	74	61	62	70	66
		廃食用油	⑬	3	3	3	3	3
		その他 (有害ごみ、廃タイヤ)	⑭	43	24	21	31	16
		資源化量 計	a (Σ④～⑭)	2,171	2,117	2,154	2,206	2,136
		※資源化率（資源化量/搬入量×100）			95.9	90.5	88.1	87.7
	分別残渣（可燃物・処分場＋容器プラ）		b	63	88	141	255	347
分別残渣 (埋立物：各処分場へ)		c	28	135	150	53	99	
資源ごみ等処理量 計		a + b + c	2,262	2,340	2,445	2,514	2,582	

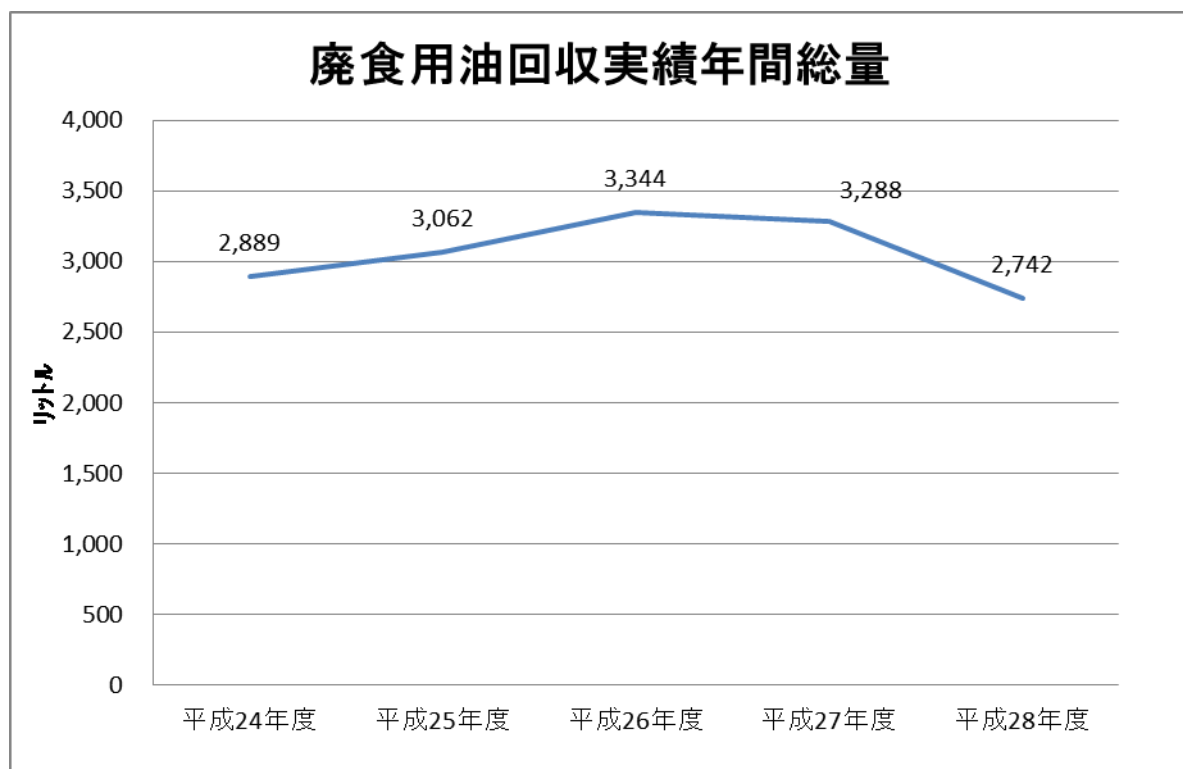
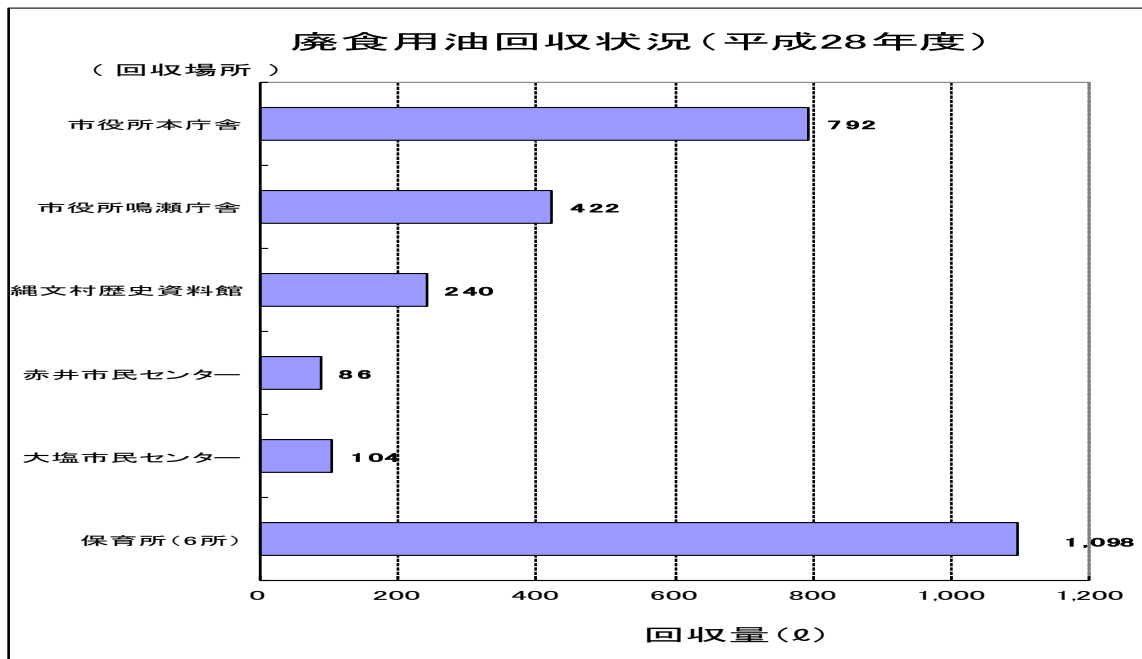
※回収した資源ごみの80%以上を資源化することによって、埋立処理量を削減し、最終処分場の延命化へとつながっています。

③廃食用油回収

平成19年5月から資源循環型社会の構築と廃棄物減量を目的に、家庭から排出される廃食用油の回収を行っています。

この事業で回収された廃食用油は、再利用して廃棄物再資源化及び減量等に貢献しています。
平成28年度回収量は前年度より546ℓ少なくなっています。

平成28年度回収量：2,742ℓ（前年度比較 -546ℓ）



④容器包装プラスチック類の分別収集

平成20年5月から、可燃ごみの減量と容器包装プラスチック類（容器包装プラ）の資源化を図るため、分別収集を実施しています。

収集した容器包装プラスチック類は、民間処理業者により資源化を行っています。

なお、資源化に適さない不適合物は、返却され可燃ごみとして処理しています。

(単位：t)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
回収量	145	148	142	147	147
返却量（可燃ごみ）	3	6	7	8	6
処理量（資源化）	142	142	135	139	141

⑤リサイクル率の推移

リサイクル率は、平成28年度実績21.3%となっています。

今後は、ごみの排出抑制と資源ごみ等の分別徹底の啓発等により、リサイクル率の向上を目指します。

リサイクル率の推移は次のとおりです。

(単位：t)

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ごみ処理量+集団回収 a		12,852	13,097	13,534	13,786	14,030
資 源 化	資源化量（矢本リサイクルセンターほか）①	2,171	2,117	2,154	2,206	2,136
	資源化量（石巻広域分）②	424	436	363	368	427
	集団回収③	466	533	454	436	427
	資源化量+集団回収 b(①+②+③)	3,061	3,086	2,971	3,010	2,990
リサイクル率 (b/a×100) %		23.8	23.5	22.0	21.8	21.3

※資源化量（石巻広域分）については、可燃ごみを広域クリーンセンターで焼却した後に、焼却残渣物の中に含まれるアルミや鉄類等です。

⑥最終処分率の推移

本市の最終処分率は、平成28年度実績で1.2%です。

最終処分率の推移は次のとおりで、平成26年度及び平成28年度において最終処分量が少ない原因は、石巻広域クリーンセンターからの焼却残渣の搬入がなかったためです。

最終処分率5カ年を平均すると6.3%と最終処分率目標値（平成38年度：5%）を多少上回る結果となっております。

今後も現在ある最終処分場の延命化を図るため、今後ともごみ減量の啓発と中間処理の充実を図り、最終処分率の減少を目指します。

(単位：t)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ごみ排出量 a	12,386	12,564	13,080	13,350	13,603
最終処分量 b	1,337	1,146	219	1,190	165
最終処分率 (b/a×100) %	10.8	9.1	1.7	8.9	1.2

⑦市民一人1日当たりごみ排出量

市民一人1日当たりごみ排出量は、東松島市一般廃棄物処理基本計画（平成29年3月策定）において平成38年度目標を845gと設定しています。

平成28年度では976gとなり、平成27年度と比較して18gの増となりました。

（単位：kg）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
人口（10月1日現在） a	40,457人	40,330人	40,169人	40,199人	40,279人
可燃ごみ総排出量 （クリーンセンター搬入量） b	10,196,280	10,311,670	10,740,730	11,090,870	11,343,100
資源 リサイクルセンター 搬入量 c	1,918,070	1,895,800	1,912,500	1,914,250	1,877,880
資源 容器包装プラ資源量 d	142,390	142,150	135,330	139,160	141,500
資源 廃食用油 e	2,889	3,062	3,344	3,288	2,742
粗大・不燃ごみ総量 f （鳴瀬処分場搬入量－可燃物 搬出量）	126,530	211,400	287,670	202,750	237,680
総排出量（b～f） g	12,386,159	12,564,082	13,079,574	13,350,318	13,602,902
一人1日排出量 （ $g \times 1,000 / a / 365$ 日）	839g	854g	892g	907g	925g
市一般廃棄物処理計画に定め る一人1日排出量目標値	856g	841g	829g	806g	976g

